岩盤柱状図

調査名　小仁方一丁目8地区 急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　砂防 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	BP.No.12-2	調査位置	広島県呉市川尻町小仁方一丁目　地内			北緯	34°12'53.1206"
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所			調査期間	令和5年2月27日～令和5年3月1日	東経	132°40'52.4467"
調査業者名		照査技術者		管理技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH 31.31 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 36°	使用機種	試錐機	東邦DO
総削孔長	5.00 m								エンジン	ヤンマーNFD-9	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 % / 最大コア長 cm / RQD % (0 20 40 60 80 100)	記	地質時代区分	孔内水位 m／測定月日	標準貫入試験 深度-N値 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 m	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	削孔月日	削孔速度 cm/h	孔径mm・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/min
	30.61	0.70		礫混じり砂	黄褐							(100)	崩落性の堆積土砂。粗砂を主体とし、未風化礫を多く混入する。																	
1	29.81	1.50		強風化花崗閃緑岩	褐灰	w5	h2	E	VI	d	DM	[0] (100)	風化に伴い軟質で礫混り砂状コアを採取する。				35	1.15 / 1.45	10	11	14	35/300	2/28	60	B2		20	60	-	-
2											C	[0] (100)	風化に伴い、軟質化が進行する。				88.2	2.15 / 2.32	21	29/70		50/170								
3											C	[0] (100)	硬質マサ状を示し、粗砂状～細礫状コアを採取する。				125	3.15 / 3.27	43	7/20		50/120								
4											C	[0] (100)	深度に伴い、硬質化が進行する。				100	4.15 / 4.30	32	18/50		50/150								
5	26.31	5.00		風化花崗閃緑岩	褐灰	w4	h2	E	V	d	DH	(100)	岩級区分は、DH級を示し、岩質区分は軟岩Ⅰ相当を呈する。		2/28 無し		300	5.05 / 5.10	50/50			50/50	3/1	130	66	W/MC	20	60	0	

株式会社アース開発コンサルタント